

養育費(増額・減額)請求調停の申立てについて

旭川家庭裁判所

1 養育費請求調停とは

離婚後、子を監護している親は、他方の親に対して養育費の支払を求めて調停を申し立てることができます。また、一度決まった養育費であっても、その後に事情の変更があった場合(収入が増減した場合や子どもが進学した場合など)には養育費の額の変更を求める調停を申し立てることができます。申立先の裁判所は、相手方の住所地を管轄する家庭裁判所又は当事者双方が合意で定める家庭裁判所になります。

調停は、裁判のように裁判所が勝ち負けを決めるのではなく、調停委員会が、双方から事情を聴いたり、書類等を提出してもらったりして、双方の収入や子に必要な費用がどのくらいあるのかといった事情を把握し、養育費の算定表を参考に、合意を目指して話し合いを進めます。

※ 両親が離婚していない場合に子どもの養育費の支払いを求める場合には、夫婦関係調整(離婚)や婚姻費用の分担の調停の中で話し合いをすることができます。

2 申立てに必要な費用

- 収入印紙 対象となる子1人につき1200円
- 郵便切手 10円×10枚, 20円×5枚, 50円×2枚, 84円×5枚
(合計720円分)

3 申立てに必要な書類

- 申立書(原本1部と写し1部の合計2部提出してください。)
申立書は、写しを相手方に送付しますので、写しを1部添付してください。**相手方に住所を秘匿したい場合は、実家の住所等、既に知られている住所を記載してください。**
- 申立書補充書(原本1部と写し1部の合計2部提出してください。)
申立書を補充するもので、申立書と一緒に相手方に写しを送付しますので、写し1部を添付してください。
- 進行に関する照会回答書
進行についての参考事項を記載するものです。これは相手方に見せることはありません。
- 子の戸籍謄本(全部事項証明書)
3か月以内に発行されたものを提出してください。

4 調停で必要となる資料の提出方法

調停では、自分の主張を裏付ける資料等を提出してもらいます。資料の中には、双方が合意をする上で必要不可欠な資料があります(例えば、源泉徴収票、確定申告書など)。これらの資料については、その内容を事前に知った上で話し合いを行う方が、話し合いが充実し、また、双方が納得のいく合意ができることとなります。**そこで、旭川家庭裁判所ではそれらの資料については、事前に相手方にコピーを交付する取り扱いを行っています。**

※ 必要となる資料の例(以下の資料は、裁判所用及び相手方用の2部必要になります。)

- 収入に関する資料
源泉徴収票の写し、給与明細書写し、確定申告書写し、所得証明書写し等
- 過去の養育費に関する取り決めや支払状況に関する資料
審判書写し、調停調書写し、公正証書写し、合意書写し等

書類等を提出するときは、**裁判所用のコピー1通**を提出してください。ただし、上記の資料や裁判所から特に2部提出するよう指示された資料、相手方に交付したい書類を提出するときは、**裁判所用及び相手方用としてコピー2通**を提出してください。なお、調停期日には必ず原本を持参して下さい。

提出する資料に、相手方にどうしても知られたくない情報で、家庭裁判所が見る必要がないと思われる部分(例えば、住所や勤務先の情報、扶養親族の名前等)がある場合には、知られたくない部分をマスキング(黒塗りする)して提出することができます。マスキングの方法は、資料のコピーにマジックなどで黒塗りして提出してください。**資料の原本には、絶対に手を加えないで下さ**

い。

【源泉徴収票のマスクング例】

平成22年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者	住所又は居所	氏名	012345678-9 ハチサキ タロウ 花咲 太郎
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額 源泉徴収税額
給与・賞与	3,654,556	2,456,753	1,654,542 154,321
控除対象配偶者の有無	配偶者の特別控除の額	扶養親族の数 (配偶者を除く)	障害者の数 (本人を除く)
		1	123,432
妻: [マスク]	長男: [マスク]	配偶者の合計所得	個人年金保険料の金額 旧長期損害保険料の金額
未成年者	本人が障害者	中途就・退職	交 籍 者 年 月 日
		就職 退職 年 月 日	明 大 昭 平 年 月 日
			* 42 5 10
支払者	住所(居所)又は所在地	氏名又は名称	[マスク]株式会社 [マスク]支店 (電話) [マスク]

個人番号（マイナンバー）が記載されている場合、必ずマスクングする

続柄は隠さない

秘匿に差し支えない範囲で残す

マスクングでは隠しきれない場合や、どうしても資料全体を相手方に見られては困る場合には、提出する資料のコピーとともに、「秘匿申出書」・「非開示申出書」という書面の提出が必要になります。秘匿申出書及び非開示申出書には、相手方に見られては困る理由を記載していただきますが、その理由を考慮した上で裁判官が秘匿や非開示を認めるかどうかを判断します。各申出書を提出したからといって、必ず秘匿や非開示の扱いとなるものではありません。

5 記録の閲覧・謄写について

提出された書類は、裁判所に記録として保管されますが、当事者は、記録の内容(双方から提出された資料を含む)を見たい場合には、記録の閲覧・謄写申請を行うことができます。申請があった場合には、調停の進行に妨げとなるような事情を考慮のうえ、裁判官が許可又は不許可の判断をします。許可された場合には、許可された部分の記録を見ることができます。

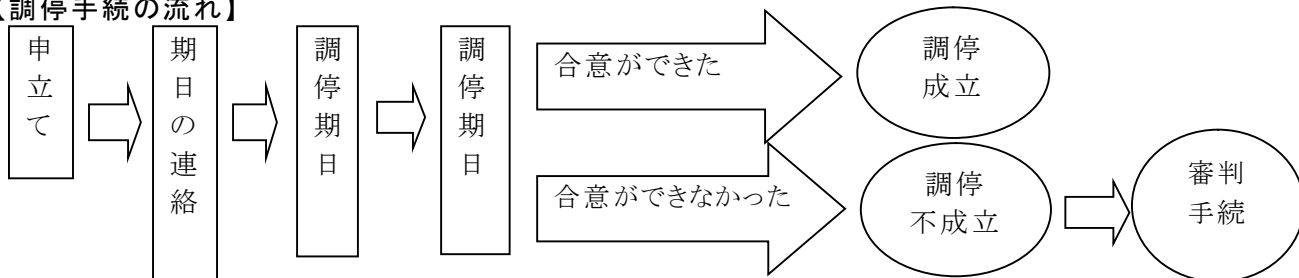
なお、調停手続が不成立となり審判手続に移行した場合、審判手続に必要な書類について記録の閲覧・謄写の申請があれば、調停手続では閲覧・謄写が許可されなかった書類であっても、法定の除外事由がない限り、原則許可されます。

6 家事調停の進め方

調停を担当するのは、裁判官と調停委員で構成している調停委員会です。調停委員会は、中立公平な立場から、一緒に考えたり、解決案を示したりして、紛争の解決を図ります。

双方の考えが平行線のままで合意する見込みがない場合には調停手続は不成立で終わり、審判手続(双方の主張や提出資料等を調査の上、裁判官が終局的な判断をする手続)に移行します。

【調停手続の流れ】



この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

受付印 収入印紙 円 予納郵便切手 円	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> 調停 家事 <input type="checkbox"/> 審判 </td> <td style="width:40%; text-align: center; vertical-align: top;"> 申立書 事件名 </td> <td style="width:30%; padding: 5px;"> 子の監護に関する処分 <input type="checkbox"/> 養育費請求 <input type="checkbox"/> 養育費増額請求 <input type="checkbox"/> 養育費減額請求 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">（この欄に未成年者1人につき収入印紙1,200円分を貼ってください。）</p> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">（貼った印紙に押ししないでください。）</p>	<input type="checkbox"/> 調停 家事 <input type="checkbox"/> 審判	申立書 事件名	子の監護に関する処分 <input type="checkbox"/> 養育費請求 <input type="checkbox"/> 養育費増額請求 <input type="checkbox"/> 養育費減額請求
<input type="checkbox"/> 調停 家事 <input type="checkbox"/> 審判	申立書 事件名	子の監護に関する処分 <input type="checkbox"/> 養育費請求 <input type="checkbox"/> 養育費増額請求 <input type="checkbox"/> 養育費減額請求		

旭川 家庭裁判所 御中 令和 年 月 日	申立人 （又は法定代理人など） の記名押印	印
----------------------------	-----------------------------	---

添付書類	（審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。） <input type="checkbox"/> 未成年者の戸籍謄本（全部事項証明書） <input type="checkbox"/> 申立人の収入に関する資料（源泉徴収票、給与明細、確定申告書、非課税証明書の写し等） <input type="checkbox"/>	準口頭 <input type="checkbox"/>
------	---	---------------------------------

申立人	住所	〒 - (方)	
	フリガナ		昭和 年 月 日生
相手方	住所	〒 - (方)	
	フリガナ		昭和 年 月 日生
未成年者	住所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	平成 年 月 日生
	フリガナ		令和 (歳)
	住所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	平成 年 月 日生
	フリガナ		令和 (歳)
	住所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	平成 年 月 日生
	フリガナ		令和 (歳)
	住所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	平成 年 月 日生
	フリガナ		令和 (歳)

(注) 太枠の中だけ記入してください。□の部分は、該当するものにチェックしてください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

※ 申立ての趣旨は、当てはまる番号を○で囲んでください。□の部分は、該当するものにチェックしてください。

申 立 て の 趣 旨	
<p>(<input type="checkbox"/>相手方 / <input type="checkbox"/>申立人) は、(<input type="checkbox"/>申立人 / <input type="checkbox"/>相手方) に対し、未成年者の養育費として、次のとおり支払うとの (<input type="checkbox"/>調停 / <input type="checkbox"/>審判) を求めます。</p>	
※ 1	1人当たり毎月 (<input type="checkbox"/> 金.....円 / <input type="checkbox"/> 相当額) を支払う。
2	1人当たり毎月金.....円に増額して支払う。
3	1人当たり毎月金.....円に減額して支払う。

申 立 て の 理 由	
同居・別居の時期	
同居を始めた日…	平成.....年.....月.....日 令和.....年.....月.....日
別居をした日…	平成.....年.....月.....日 令和.....年.....月.....日
養育費の取決めについて	
1	当事者間の養育費に関する取り決めの有無 <input type="checkbox"/> あり (取り決めた年月日：平成・令和.....年.....月.....日) <input type="checkbox"/> なし
2	1で「あり」の場合
(1)	取決めの種類 <input type="checkbox"/> 口頭 <input type="checkbox"/> 念書 <input type="checkbox"/> 公正証書 <input type="checkbox"/> 調停 <input type="checkbox"/> 審判 <input type="checkbox"/> 和解 <input type="checkbox"/> 判決 → (.....家庭裁判所..... (□支部/□出張所) 平成・令和.....年(家.....)第.....号)
(2)	取決めの内容 (□相手方/□申立人) は、(□申立人/□相手方) に対し、令和.....年.....月から.....まで、未成年者1人当たり毎月.....円を支払う。
養育費の支払状況	
<input type="checkbox"/> 現在、1人当たり1か月.....円が支払われている (支払っている)。 <input type="checkbox"/> 令和.....年.....月まで1人当たり1か月.....円が支払われて (支払って) いたがその後 (□.....円に減額された (減額した)。 / □ 支払がない)。 <input type="checkbox"/> 支払はあるが一定しない。 <input type="checkbox"/> これまで支払はない。	
養育費の増額または減額を必要とする事情 (増額・減額の場合のみ記載してください。)	
<input type="checkbox"/> 申立人の収入が減少した。 <input type="checkbox"/> 相手方の収入が増加した。 <input type="checkbox"/> 申立人が仕事を失った。 <input type="checkbox"/> 再婚や新たに子ができたことにより申立人の扶養家族に変動があった。 <input type="checkbox"/> 申立人自身・未成年者にかかる費用 (□学費 □医療費 □その他) が増加した。 <input type="checkbox"/> 未成年者が相手方の再婚相手等と養子縁組した。 <input type="checkbox"/> その他 (.....)	

これは申立書を補充するもので、この写しは申立書写と一緒に相手方に送付されます。

令和 年 (家イ) 第 号

申立書補充書

(養育費・養育費減額・養育費増額調停事件用)

(用紙が不足する場合は、別に用紙を用意して記入してください。)

1 同居している家族について書いてください。				
氏	名	年 齢	続 柄	職 業 ・ 学 籍
2 あなたの住居の状況について書いてください。				
<input type="checkbox"/> 自宅 (ローン月額 _____ 円) → <input type="checkbox"/> 申立人 / <input type="checkbox"/> 相手方が、ローンを支払っている。 <input type="checkbox"/> 申立人及び当事者以外の家族所有 <input type="checkbox"/> 賃貸 (賃料月額 _____ 円) → <input type="checkbox"/> 申立人 / <input type="checkbox"/> 相手方が、賃料を支払っている。 <input type="checkbox"/> その他 (_____)				
3 あなたの収入・負債について書いてください。				
昨年の年収 (税込) 約 _____ 万円 <input type="checkbox"/> 源泉徴収票添付 賞与 (年 回) 約 _____ 万円 現在の月収 約 _____ 万円 実家等の援助 月額約 _____ 万円 生活保護費 月額約 _____ 万円 児童手当 月額約 _____ 万円 児童扶養手当 月額約 _____ 万円 その他の収入 月額約 _____ 万円 (_____)				
負債 <input type="checkbox"/> ある (約 _____ 万円) <input type="checkbox"/> ない (内容)				
4 あなたの職業を書いてください。				
(職業・業種)				
<input type="checkbox"/> 無職 (令和 ____ 年 ____ 月ころから)				

令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日 氏名 _____ 印

進行に関する照会回答書

- ① これは調停進行の参考のためにうかがうものです。
 ② これは相手に送付されませんし、相手に見られることはありません。

参考に都合の悪い曜日・希望の曜日を記入してください	申立人が都合の悪い曜日 曜日 午前・午後 申立人が希望する曜日 曜日 午前・午後 （※土・日・祝日を除く） <input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> わからない	相手方が都合の悪い曜日 曜日 午前・午後 相手方が希望する曜日 曜日 午前・午後 （※土・日・祝日を除く） <input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> わからない
あなたと相手の電話番号を記入してください（平日の昼間に確実に連絡を取れる電話番号を一つ以上記入してください）	裁判所と名乗って連絡 自宅（ ） <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 携帯（ ） <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 職場（ ） <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 （社名 ） その他（ ） <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	裁判所と名乗って連絡 自宅（ ） <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 携帯（ ） <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 職場（ ） <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 （社名 ） その他（ ） <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
あなたの連絡先について記入してください	<input type="checkbox"/> 申立書記載のとおり <input type="checkbox"/> 住所等（申立書と異なる理由： <input type="checkbox"/> 相手に秘匿したい <input type="checkbox"/> 転居したため）	
相手の暴力について記入してください。	相手から暴力を振るわれたことはありますか。 <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない （「ない」にチェックした場合は以下の記載は不要です。） 相手の暴力はどのような内容ですか。 <input type="checkbox"/> 怒鳴る。 <input type="checkbox"/> 物を投げる。 <input type="checkbox"/> 殴る・蹴る。 <input type="checkbox"/> 凶器を持ち出す。 <input type="checkbox"/> その他（ ） 相手は裁判所でも暴力をふるう可能性はありますか。 <input type="checkbox"/> ある（ <input type="checkbox"/> 行き帰りの際にある。 <input type="checkbox"/> 裁判所内でもある。） <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 分からない 配偶者暴力に関する保護命令の申立て（DV防止の申立て）をしましたか。 <input type="checkbox"/> はい（令和 年 月 日） <input type="checkbox"/> いいえ 申立てをした方へお聞きします。保護命令は出ましたか。 <input type="checkbox"/> はい（命令書のコピーを出してください。） <input type="checkbox"/> いいえ	
裁判所に特に配慮を求める事項がありますか。	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある（以下に配慮を求める内容を記入してください。）	